

事務事業名	非常備消防施設維持管理事業		会計	一般会計	実施区分	継続		
			事業種別	経常	開始	終了		
H29作成課等名	危機管理室	H29係等名	消防団係	H28担当課等名 危機管理室				
基本計画上の位置づけ	政策	4	暮らしと生命を守る安全安心で快適なまちづくり					
	施策	41	災害対策の推進					
目的	対象(誰・何を)	消防団施設、装備、機関			対象指標	指標名及び単位	28年度数値	
	意図(どういう状態にするか)	施設、備品等の維持管理				機関数(台)	74	
	向上させたい上位施策の成果指標	市民が災害にそなえている割合(%)						
目標	種別	指標名及び単位		27年度計画	27年度実績	28年度計画	28年度実績	備考(指標変更など)
	成果指標	常時出動できる体制(出動可能機関÷全機関(%))		100	100	100	100	
	副指標	施設及び人材の確保		100	100	100	100	
定性目標								
事業概要	消防団自動車、ポンプ自動車、小型動力消防ポンプ付積載車、C-1ポンプ等の維持管理。							
28年度事業内容	事業内容			名称		活動指標		
	1 常時出動できるよう機関を整備しておく。 (2機関運用の地区の検討、リストラを希望する機関(地区)と周辺地域の出動態勢の確保) 2 詰所の経常経費の管理を行う。 3 消防資機材の配備			1 常時出動が可能な機関数 2 詰所維持管理 3 資機材配備		1 74台 2 70カ所 3 2箇所		
事業コスト	27年度決算額	28年度予算額	28年度決算額	29年度繰越額	特定財源内訳、補足			
事業費計(千円)①	23,060	22,567	20,752	0	(そ) 諸収入 239千円			
国庫支出金								
県支出金								
起債								
その他	238	238	239					
一般財源	22,822	22,329	20,513					
人件費計(千円)②	715	0	715	0				
正規職員所要時間	200		200					
臨時職員所要時間								
総事業費①+②	23,775	22,567	21,467	0				
事業内容・目標達成状況の振り返り	車両の定期点検、修理等精査し適正な維持管理が実施できた。また小型動力ポンプ付き多機能型積載車の更新2台を行い車両の維持を行うことができた。							
改革改善の考え方	①問題点	現状を維持しながらも、団員確保が困難な現状では、必要に応じて詰所の統廃合を地元の理解を得ながら進めて行く必要がある。道路交通法の法改正により運転免許取得に伴う補助等検討をする必要がある。						
	②改革提案	現消防団員数に応じた車両(班)数とし、団員の過負担を回避したい。一方で個々の班の消防技術力を高め住民の安全・安心を確保していく。						